

令和 7 年度
首里城公園事業年報
第 7 号



SHURIJO CASTLE PARK ANNUAL REPORT
No.7 April 2025—March 2026

表紙写真 外観工事が完了した首里城正殿（2025年9月撮影）

正殿は琉球王国最大の木造建築物で、首里城のなかでも王権を象徴する中心的な建物である。2019年の火災後、多くの支援をいただき再建事業が進められてきた。

2025年10月末には、正殿を覆っていた素屋根の撤去が完了し、外観が再びその姿を現した。

裏表紙写真 上空から望む首里城正殿（2026年2月撮影）

2026年秋の完成を目指し、正殿内部の塗装や正殿と南北を繋ぐ「両廊下」の再建作業が行われており、復元工事が着々と進められている。

上空から捉えた本写真では、正殿の両脇で素屋根に覆われながら作業が続く両廊下の様子を見てとることができる。

目 次

I 名称・所在地・営業資料	1
II 沿革	2
III 管理・運営	4
1) 組織	
2) 首里城公園管理センター 業務分掌	
3) 主な管理施設	
IV 事業報告	5
1) 調査研究活動	5
2) 普及啓発活動	7
3) 地域連携事業	15
4) 展示解説・企画展等	20
5) 首里城公園友の会事業	23
6) 誘客促進	29
7) 行催事	39
8) 見せる復興	49

I 名称・所在地・営業資料

名称 首里城公園

国営沖縄記念公園 首里城地区

沖縄県国営沖縄記念公園内施設（首里城地区内施設）

設置者：内閣府 沖縄総合事務局

管理許可者：沖縄県

指定管理者：一般財団法人沖縄美ら島財団

所在地 〒903-0812 沖縄県那覇市首里当蔵町

電話：098-886-2020 FAX：098-886-2022

ホームページ：<https://oki-park.jp/shurijo/>

時間

期 間	開園時間	開場時間	駐車場
	(城郭内 無料区域)	(城郭内 有料区域)	
4月～6月	8時00分～19時30分	8時30分～19時00分	8時00分～19時30分
7月～9月	8時00分～20時30分	8時30分～20時00分	8時00分～20時30分
10月～11月	8時00分～19時30分	8時30分～19時00分	8時00分～19時30分
12月～3月	8時00分～18時30分	8時30分～18時00分	8時00分～18時30分

※入場券販売締切：閉場時間の30分前

※臨時休場：2026年6月4日14時～6月5日終日（施設メンテナンスのため）

入場料金

	通常料金		年間 パスポート	沖縄県民割（70歳未満）※1 モノレール割※2 学校割 首里城公園友の会
	一般	団体 （20名以上）		
大人	400円	320円	800円	320円
中人（高校生）	300円	240円	600円	240円
小人（小・中学生）※3	160円	120円	320円	120円
6歳未満、70歳以上※4	無 料			
身体障がい者等※	免 除（身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方1名につき、介護者1名まで無料で入場）			

※1：11/1～11/3、1/1～1/3、3/20～3/22は「沖縄県民割（70歳未満）」を実施

※2：モノレール（ゆいレール）のフリー乗車券（一日券・二日券）をご利用中のお客様は首里城公園券売所窓口にて乗車券の提示により団体料金を適用

※3：5/5 こどもの日は「小人（小・中学生）入場無料」を実施

※4：沖縄県民の70歳以上が対象、身分証明書の提示により適用

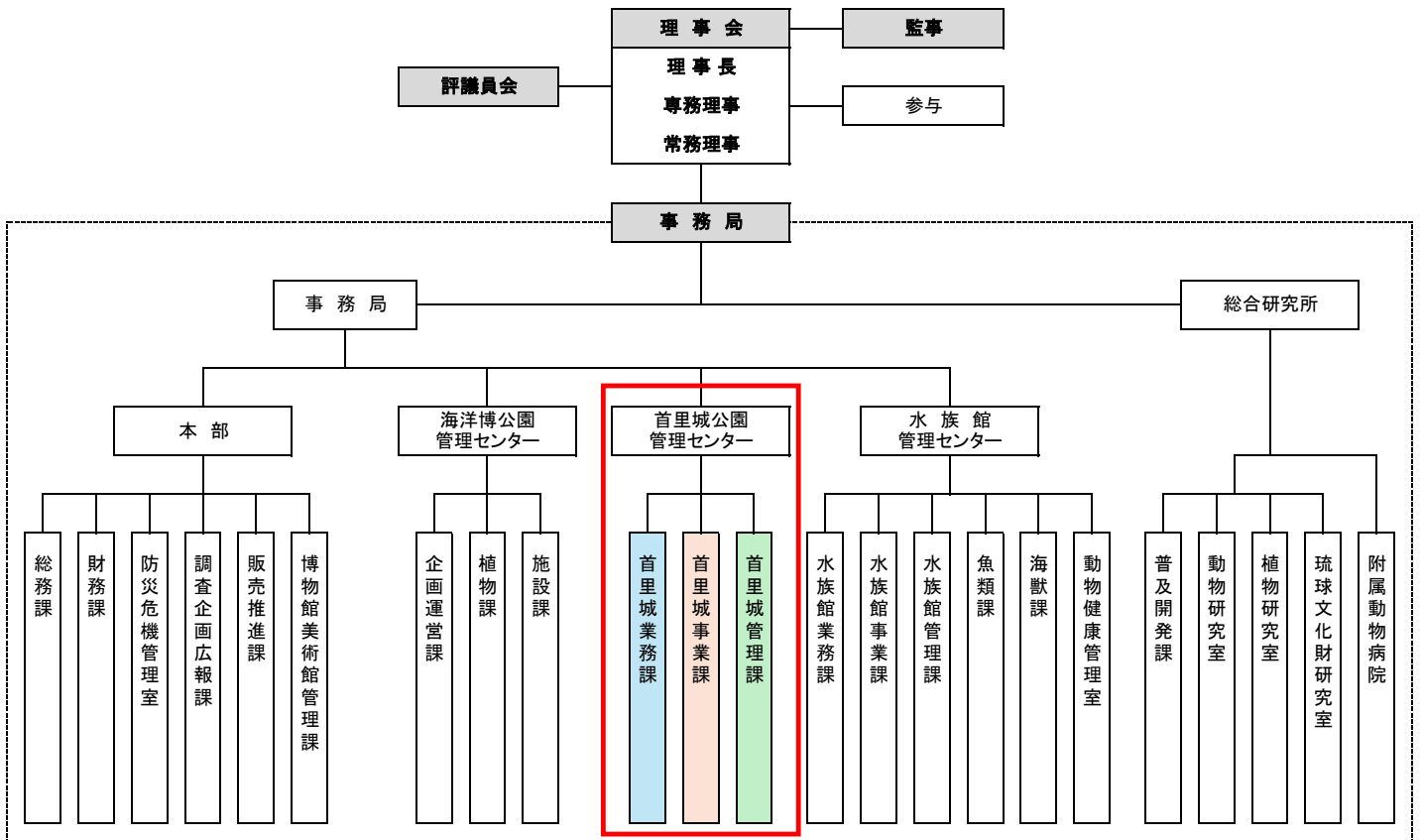
Ⅱ 沿革

昭和59年		沖縄県により「首里城公園基本計画」策定
昭和61年		「国営沖縄記念公園首里城地区」として首里城跡地内4haを整備することが閣議決定 沖縄総合事務局により「国営沖縄記念公園首里城地区基本計画」が策定 国営公園の予定地の周辺を県営公園とすることを庁議決定 首里城公園（17.8ha）が都市計画決定
昭和62年		首里城公園内の国営公園部分が都市計画事業承認される 首里城公園内の県営公園部分が都市計画事業認可される 沖縄県により「首里城公園基本設計」が策定
平成元年		首里城正殿建築工事の起工式及び木曳式を実施 首里城正殿、復元工事に着手 南殿・番所、北殿、奉神門等も復元工事に着手
平成4年		首里城正殿建築工事、石積設置工事等が竣工する
	11月3日	首里城公園一部開園
平成7年	3月15日	入園者500万人達成
平成9年	12月24日	入園者1,000万人達成
平成12年	6月2日	入園者1,500万人達成
	7月22日	九州・沖縄サミットの夕食会が首里城で行われる
	12月2日	「琉球王国のグスク及び関連遺産群」に園比屋武御嶽石門、首里城跡が世界遺産として登録
平成14年	11月1日	入園者2,000万人達成
平成15年	10月4日	京の内供用
平成18年	10月26日	入園者3,000万人達成
平成19年	1月27日	書院・鎖之間供用
平成20年	8月1日	書院・鎖之間庭園供用
平成21年	7月23日	書院・鎖之間庭園、名勝に指定
平成22年	4月1日	淑順門供用
	12月5日	入園者4,000万人達成
平成26年	1月24日	黄金御殿・寄満・近習詰所・奥書院供用
	4月1日	奥書院庭園供用
平成27年	4月25日	入園者5,000万人達成
平成28年	3月28日	銭蔵跡、厩、係員詰所跡供用
平成29年	3月31日	北城郭園路広場供用
平成30年	12月16日	入園者6,000万人達成
平成31年	2月1日	国営沖縄記念公園首里城地区全エリア開園 東のアザナ・白銀門・二階御殿供用

		世誇殿、女官居室、後之御庭、美福門供用
令和元年	10月31日	首里城正殿を含む建物9棟が焼損
令和2年	6月12日	首里城公園正殿遺構等の一般公開
	10月31日	復興展示室、世誇殿大型映像設備、女官居室ミュージアムショップ球陽オープン
令和3年	10月27日	仮設見学デッキ完成
令和4年	10月1日	木材倉庫、見学エリア等完成
	11月3日	首里城正殿復元整備工事起工式及び令和の木曳式を開催
令和5年	2月3日	首里杜館ガイダンスホール オープン
	2月	木材加工開始(3月 原寸図の製作)
	7月10日	礎石の搬入開始
	8月26日	素屋根見学エリア 一般公開
	9月4日	本格的な正殿本体工事開始 ※御差床(うさすか)の柱
	12月25日	正殿の軸組建方完了
令和6年	1月	首里城正殿 垂木(たるき)の据付
	5月9日	首里城正殿 唐破風(からはふ)の取付
	5月27日	首里城正殿 上棟
	7月15日	首里城正殿 瓦葺きを開始
令和7年	1月8日	久志間切弁柄を使った塗装の開始
	3月16日	木材倉庫・原寸場 供用終了
	3月31日	龍頭棟飾の設置
	5月22日	鬼瓦、唐破風妻飾の設置
	6月8日	素屋根見学エリア 供用終了
	6月	龍頭棟飾(吽形)設置完了
	7月	首里城正殿 外観完成
	10月30日	素屋根撤去 完了
	10月31日	火災防御合同訓練の実施
	12月15日	両廊下建方工事の開始
	12月27日	御庭の休工エリアの一部を特別公開(2026年1月4日まで)
令和8年	3月26日	見学デッキの整備

Ⅲ 管理・運営

1) 一般財団法人 沖縄美ら島財団組織図



2) 首里城公園管理センター 業務分掌

首里城業務課
首里城公園における庶務・経理、入場券販売、利用サービス

首里城事業課
首里城公園における企画立案、行催事・広報・展示、普及啓発、首里城基金、首里城公園友の会、物販・料飲事業

首里城管理課
首里城公園における建物・工作物の維持管理及び修繕、植物管理、清掃

3) 主な管理施設

区域		施設名
無料区域	城郭外	首里杜館・守礼門・園比屋武御嶽石門・円覚寺・弁財天堂・龍潭・中城御殿跡
	城郭内	歓会門・久慶門・瑞泉門・漏刻門・広福門・首里森御嶽・系図座用物座・奉神門・右掖門・淑順門・継世門・美福門・銭蔵・木曳門
有料区域 (焼失建造物含む)		正殿・南殿 番所・北殿・書院鎖之間・書院鎖之間庭園・近習詰所・奥書院・黄金御殿・寄満・女官居室・世誇殿・復興展示室・素屋根見学エリア (6月まで)

IV 事業報告

1) 調査研究活動

琉装国王王妃衣装の復元調査

首里城火災で焼失した琉装国王王妃衣装（平成4・5年度製作）について、株式会社沖縄電力の復元製作事業の一部を受け、下記のとおり実施した。



図1 琉装国王・王妃衣装（平成4・5年度製作）

(1) 令和7年度計画

- ①王妃衣装の類似事例調査を那覇市歴史博物館で実施
- ②製作者（布地製作者、縫製技術者）との調整
- ③有識者を招聘して国王王妃衣装の製作仕様の検討
- ④国王王妃衣装（ハチマチ、大帯、紅型、打掛）の完成

(2) 令和7年度結果

- ① 国王衣装は全3点のうち2点が完成した。残りの1点は製作者と熟覧調査を重ね本製作に取り掛かった。
- ② 王妃衣装は全2点（紅型、打掛）が完成した。

(3) 次年度以降の予定

令和8年度は国王衣装の仕立てを行い、全ての製作が完了する見込み。



図2 王妃衣装類似事例調査
那覇市歴史博物館



図3 有識者ワーキング会議



図4 国王衣装ハチマチ



図5 国王衣装（大帯）



図6 王妃衣装（紅型）



図7 王妃衣装（打掛）

2) 普及啓発活動

郷土歴史文化学習事業

首里城及び琉球王国の歴史文化の普及啓発を目的に、沖縄県内の小・中学生及び引率教諭を対象に、首里城公園の有料区域に無料で入場できる「郷土歴史文化学習事業」を実施した。

来園時には要望に応じて首里城及び琉球王国について概要の説明を行った。また、来園後には児童・生徒の学習結果（作文、図画、新聞等）を提出していただき、希望に応じて首里城公園内で展示・紹介した。

(1) 令和7年度実施計画

9月に沖縄県内の教育委員会等に本事業の案内文書を発送・紹介した。

(2) 令和7年度実施結果

小学校68校3,783人、中学校7校708人、その他4校83名が本事業を利用した。利用拡大を目的に、令和8年3月に近隣の小学校に案内文書を発送した。

(3) 次年度以降の予定

秋に正殿完成を迎えるため、本事業の更なる利用拡大を図る。



解説員による概要説明の様子



学習結果報告書展示

首里城出張講座

首里城及び琉球王国の歴史文化の普及啓発を目的に、「郷土歴史文化学習事業」で来園を予定している小・中学校、または依頼のある高校等を対象に、学芸員による出張講座を実施した。

(1) 令和7年度実施結果

- ・ 6月27日
フリースクール「珊瑚舎スコーレ与那原校」
- ・ 7月9日
フリースクール「珊瑚舎スコーレ南風原校」
- ・ 7月15日
フリースクール「珊瑚舎スコーレ津嘉山校」
- ・ 7月18日
フリースクール「珊瑚舎スコーレ八重瀬校」
- ・ 7月16日
読谷村立渡慶次小学校
- ・ 7月18日
那覇市立松島中学校
- ・ 12月15日
那覇市立小禄小学校
- ・ 令和8年1月7日
那覇市立城北中学校
- ・ 令和8年2月3日
那覇市立石嶺小学校



珊瑚舎スコーレ津嘉山校



読谷村立渡慶次小学校

日影台（日時計）解説会

首里城及び琉球王国の歴史文化の普及啓発を目的に、学芸員や解説員による日影台（日時計）の解説会を実施した。

(1) 令和7年度実施計画

日影台は、往時、時刻盤の傾斜角度を二十四節季ごとに変えていたことにちなみ、夏至・秋分・冬至・春分の4期、1日2回（巳の刻10:20～、午の刻12:20～）実施した。

- ① 6月20日、21日(夏至)、22日
- ② 9月20日、21日、23日(秋分)
- ③ 12月20日、21日、22日(冬至)
- ④ 令和8年3月20日(春分)、21日、22日

(2) 令和7年度実施結果

- ① 12日間、計24回開催し、総計1,459人（夏至：266人、秋分：319人、冬至：341人、春分：533人）が参加した。荒天時は系図座・用物座で資料を使って解説した。
- ② 解説会では、英語・中国語（簡体字/繁体字）・韓国語の解説書と、自作できる日影台のワークシートを配布した。
- ③ 首里城公園公式YouTubeに解説動画を掲載し、来園者以外への普及啓発にも努めた。



夏至



秋分



冬至



春分

首里城講座

首里城に関する歴史・文化の普及啓発を目的に、専門家を招いた連続講座を開催した。

(1) 令和7年度実施計画

「令和の首里城復興」をテーマに、首里城正殿の漆塗装、鬼瓦、彫刻物などについて、実際に制作に携わった方々を講師に招き、全3回の講座を実施した。

【期間】 令和8年3月14日、15日、28日

【時間】 10:30～12:00

【場所】 首里城公園 首里杜館 レビューホール

【定員】 各回20人

(2) 令和7年度実施結果

・【第1回】「首里城正殿の塗装について」

講師：森田哲也（首里城正殿復元工事漆塗装現場責任者）

2006年から首里城正殿や門の塗装を行っている森田哲也氏を講師に迎え、首里城正殿復元の塗装について講座を行った。古文書に基づき最新の調査研究成果を反映させて作業を行い、漆の性質を熟知し天候と調整しながら作業が進められていること等、画像や動画を交えながらわかりやすい解説があった。参加者の関心も高く、道具や人材育成・技術継承についての質疑応答があった。（参加者数：15名）

・【第2回】「『首里城正殿の鬼瓦』-造形から焼成、取付までの物語-」

講師：島袋常秀（壺屋陶器事業協同組合理事長）・新垣光雄（シーサー職人）
平良啓（国建執行役員常務）

首里城正殿屋根に取り付けられている鬼瓦について、主に造形を担当した新垣光雄氏と釉薬から焼成を担当した島袋光雄氏、平成の首里城復元から関わり、鬼瓦の取付等を担当した平良啓氏を講師に迎え、講座を開催した。それぞれの工程について平良氏が制作者のお二人から話を聞くスタイルで行われ、制作の困難な点や工夫したところ等細部にいたる解説が行われた。質疑応答も活発に行われ、制作技法や釉薬の調合、取付方法についての質問があり、関心の高さがうかがえた。（参加者数：30名）

・【第3回】「首里城正殿 向拝奥の彫刻物『獅子』復元についての報告」

講師：長尾恵那（沖縄県立芸術大学准教授）

沖縄県立芸術大学准教授で彫刻家の長尾恵那氏を講師に迎え、首里城正殿の正面に見える「獅子」の制作を中心に、制作の手順や技法の解説等、わかりやすく詳細な解説を聞くことができた。作家として制作をすることと復元事業に関わることの違い、下絵から本制

作までの流れや監修者と検討を積み重ねて出来上がったこと等、制作の裏側を伝えており、首里城正殿復元への理解を深める講義であった。（参加者数：24名）



第1回



第2回



第3回

首里城公園有料ガイドツアー

首里城及び琉球王国の歴史文化の普及啓発、ならびに首里城復興に向けた気運を高めることを目的に、首里城公園の解説員によるガイドツアーを実施した。特に、正殿等の再建が着々と進む今だからこそ見られる・感じられる首里城の新たな魅力を紹介した。(木材倉庫・加工場・原寸場および素屋根の解説は6月初旬まで)

(1) 令和7年度実施計画

【期間】4月1日～令和8年3月31日

【時間：定時ツアー】8:15～9:15、9:15～10:15、16:00～17:00

【時間：貸切ツアー】10:00～15:00 出発で希望に応じて開催

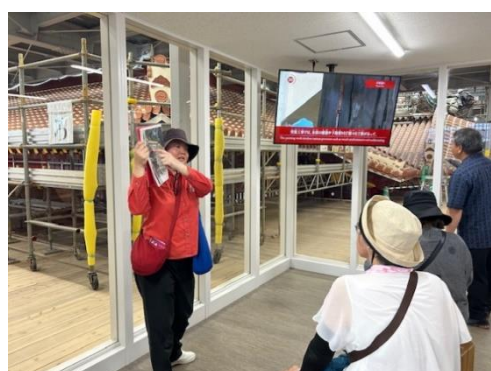
【料金】定時ツアー1,000円/人、貸切ツアー1,500円/人、小学生以下無料、別途入場料

【見学コース】

- ① 御開門式見学コース (8:15)
- ② 歓会門コース (9:15 および貸切ツアー)
- ③ みせる復興コース (16:00)
- ④ 木曳門(バリアフリー)コース ※参加者の要望に応じて実施

(2) 令和7年度実施結果

- ① 定時ツアー3,726人、貸切ツアー5,132人、小人(無料)468人、業務案内・研修409人、合計9,735人の参加があった。
- ② 熱中症対策のため6月～10月は10時～14時出発の貸切ツアーを中止した。中止に伴う解説プログラムの補充として、世誇殿のタッチパネル解説(無料)の拡充、復興展示室のスポット解説(無料)を行った。



ガイドツアーの様子



ガイドツアーの様子

あがり
東のアザナ時報解説・体験会

琉球王国時代の歴史や文化について理解を深めることを目的に、琉球王国時代、漏刻門や日影台で計測した時間を東のアザナや西のアザナに伝え、鐘などをついて首里城内外へ時間を知らせていたことにちなみ、首里城公園の解説員が11:55頃から鐘楼が設置されていたと伝わる東のアザナで琉球王国時代の時刻に関する解説を行った。また、その場にいる方から体験者を募り、希望者がドラを叩くことで歴史を体験できるプログラムとした。(ハチマチ着用可)

(1) 令和7年度実施計画

期間：4月1日～令和8年3月31日 ※天候不良時を除く毎日

時間：11:55～12:05

場所：首里城公園 東のアザナ

(2) 令和7年度実施結果

316回開催し、8,979名が参加した。



時報解説・体験会の様子

首里城公園有料ガイドツアー

首里城及び琉球王国の歴史文化の普及啓発、ならびに首里城復興に向けた気運を高めることを目的に、首里城公園の解説員によるガイドツアーを実施した。特に、正殿等の再建が着々と進む今だからこそ見られる・感じられる首里城の新たな魅力を紹介した。(木材倉庫・加工場・原寸場および素屋根の解説は6月初旬まで)

(1) 令和7年度実施計画

【期間】4月1日～令和8年3月31日

【時間：定時ツアー】8:15～9:15、9:15～10:15、16:00～17:00

【時間：貸切ツアー】10:00～15:00 出発で希望に応じて開催

【料金】定時ツアー1,000円/人、貸切ツアー1,500円/人、小学生以下無料、別途入場料

【見学コース】

- ① 御開門式見学コース (8:15)
- ② 歓会門コース (9:15 および貸切ツアー)
- ③ みせる復興コース (16:00)
- ④ 木曳門(バリアフリー)コース ※参加者の要望に応じて実施

(2) 令和7年度実施結果

- ① 定時ツアー3,726人、貸切ツアー5,132人、小人(無料)468人、業務案内・研修409人、合計9,735人の参加があった。
- ② 熱中症対策のため6月～10月は10時～14時出発の貸切ツアーを中止した。中止に伴う解説プログラムの補充として、世誇殿のタッチパネル解説(無料)の拡充、復興展示室のスポット解説(無料)を行った。



ガイドツアーの様子



ガイドツアーの様子

3) 地域連携事業

フラワーロード事業

都市公園及びその周辺地域に対する県民の意識を高め利活用の効果を促進することを目的に、那覇市城西小学校区まちづくり協議会が実施する「龍潭通りの清掃活動」等と合同で都市公園等の愛護活動を展開した。

(1) 令和7年度実施計画

【日時】10月19日 8:30~11:30

【場所】首里城公園内 龍潭周辺及び龍潭通り

【連携団体】ヒルトンホテルグループ、ノボテル沖縄、琉球銀行、郵便局、
那覇市城西小学校区まちづくり協議会、JA 首里支店、協力会社、財団職員

(2) 令和7年度実施結果

- ① 140名の参加があり、開始前に作業内容、安全管理、熱中症対策を説明した。
- ② 龍潭周辺の落葉清掃、石積み除草、ごみ拾い、雑木撤去、高木剪定、プランターへの草花植え付け等を実施した。また、450株のベゴニアを龍潭通り（県道）に設置し、フラワーロードとして沿道の景観向上を行った。
- ③ 参加者には、当財団総合研究所および（一社）沖縄県造園建設業協会より提供いただいたハイビスカス、コバノサンダンカ、ペンタスなどの苗木を配布した。
- ④ 都市公園愛護への意識高揚、安全で憩いのある環境づくり、美しい風景による観光振興に寄与した。



沿道除草の様子



龍潭周辺除草の様子



植え付けの様子

「春の御城(うぐしく)まつり」

首里地域の活性化を目的に、「地域のお祭り」として「春の御城まつり」を開催した。地域団体や教育機関、地元企業との結びつきを強化し、「地域に親しまれる公園」作りにつなげた。

(1) 令和7年度実施計画

【期間】 令和8年3月20日～3月22日 8:00～17:00

【場所】 首里城公園全域、龍潭通り店舗など

	イベント名	連携団体	場所
1	首里こども旗頭	那覇市城西小学校区 まちづくり協議会	守礼門、下之御庭、 芝生広場、首里各地
2	サンゴ染め体験	首里琉染	レビューホール
3	はた織りワークショップ	那覇伝統織物事業協同組合	首里染織館 suikara
4	ミツバチ教室	新垣養蜂園	首里杜館 1F
5	飯フェス in 首里城	イベント.ぶっちゃん	芝生広場
6	万国津梁の鐘クラフト体験	沖縄県立博物館・美術館	復興展示室

(2) 令和7年度実施結果

県内、特に首里周辺地域からの誘客に取り組み、那覇市・浦添市内の小中学校へチラシを配布した結果、「那覇市在住」の「家族連れ」が「チラシを見て参加した」が居住地・属性・広報媒体で最も多くなり、実施目的の「地域のお祭りとして開催する」「地域に親しまれる公園作り」に寄与することができた。



首里こども旗頭



サンゴ染め体験



はた織りワークショップ



ミツバチ教室



飯フェス in 首里城



万国津梁の鐘クラフトづくり体験

酔い、宵いイベント

泡盛等琉球食文化の普及啓発を目的に、令和6年度に続き2回目となる「酔い、宵いイベント」を酔い宵い実行委員会（主催）と共に開催した。

また、昼間は沖縄県首里城復興課が「能登輪島・首里城復興イベント」を開催し、一体感のあるイベントを実施することで相互（首里と能登）の復興への関心を高めた。

(1) 令和7年度実施計画

【日時】7月12日、13日 17:00～21:30

【場所】首里杜館 B1F ガイダンスホール、首里杜館 1F 無料休憩所、展望デッキ、レストラン首里杜（座席を開放）、芝生広場全域

【出店】《お酒7社》

瑞泉酒造、瑞穂酒造、識名酒造、パポテペパン、ウォルフブロイ、御料理もりや（那覇市で石川県の珍味と日本酒を提供）、カフェ龍樋

《フード8社》

みるく世界報、ヨナサルウテ、スエヨシ亭、カズンズカフェ、うない、シマミドリ、ジュリエッタ、カフェ龍樋

《委託販売4社》

豆腐よう松島、首里うかじ、和味料理もりしま、きんそば

【特別ガイドツアー】

「夕暮れガイドツアー ～首里城 夕暮れほろ酔い大人ツアー（大人は泡盛試飲付き）～」

案内人：いのうえちず氏（首里まちづくり研究会）

定員：30名

参加費：1,000円 ※別途入場料

(2) 令和7年度実施結果

前回の課題から下記の解決策を講じ、混雑や環境に関する苦情も特に無く、お客様とのヒヤリング結果は高評価だった。

- ① 店舗レイアウトを見直し、一部をベルトパーテーションで仕切り、列を適宜コントロールした。大型看板（店舗名・店舗位置）を会場出入口前（芝生広場、首里杜館 B1F）と会場内に設置し、参加者の案内を改善した。
- ② ゴミステーションを増設し、燃えるゴミと飲み残しをお客様各自が分別できるようにした。また、ゴミの回収頻度を上げ、清潔なイベント環境を提供した。
- ③ ガイドツアーでは琉球王国時代の首里城と泡盛に関する歴史等を解説し、地元首里の泡盛古酒三種の試飲を行った。両日共に定員以上の応募があり、需要と案内人の人気の高さが伺えた。



4) 展示解説・企画展等

屋外展示・復興展示室・その他企画展等

首里城正殿は令和8（2026）年の完成に向けて着々と工事が進められている。その過程を「見せる復興」として正殿の復元、琉球王国の歴史文化、首里城の施設等について展示・解説を行った。

(1) 令和7年度実施計画

- ① 国や県の復興に関する展示更新を支援し、最新情報を利用者に届ける。
- ② 琉球王国の歴史文化、園内施設に関する企画展等を開催する。
- ③ ホームページに上記①②を掲載し、来園困難者ならびに多言語解説を支援する。

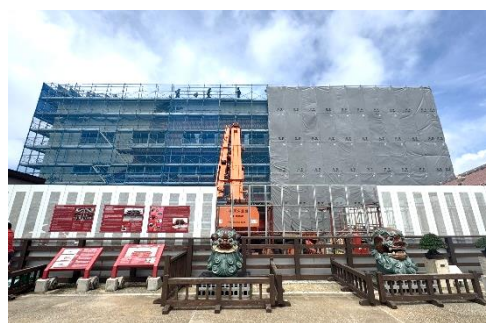
(2) 令和7年度実施結果

【復興関連】

- ① ガラス張りの窓越しに作業の様子が見学できる「素屋根」内で行われる復元工事の最新状況（外壁塗装の進捗、鬼瓦や龍頭棟飾の設置等）を発信した。素屋根は6月に供用が終了し、10月に撤去が完了した。
- ② 素屋根共用終了に伴い、国が正殿北側の見学デッキに設置した「正殿復元工事のタイムラプス写真」および「実物大の獅子および龍頭棟飾の写真」をガイドツアーの解説コンテンツとして活用した。
- ③ 県が世誇殿、復興展示室、後之御庭に設置した試作品等をガイドツアーやスポット解説のコンテンツとして活用した。



巢屋根内の状況発信



後之御庭の鬼瓦



透明パネル越しの正殿



龍頭棟飾の実物大写真

【展示関連】

下記の展示を実施した。

① 郷土歴史文化学習事業成果物展示

会 期：4月1日～9月19日

場 所：首里杜館 ガイダンスホール

内 容：郷土歴史文化学習事業で首里城を見学した学校から送られてきた報告書（作文・絵画・新聞等）を学校ごとに2週間ずつ展示した。

② 首里城基金 被災資料の修理

会 期：4月1日～令和8年3月6日

場 所：首里杜館 ガイダンスホール

内 容：2019年の火災で被災した美術工芸品の修理に首里城基金が活用されていることをパネルで紹介した。3～4か月毎に品目を更新した。

③ 在りし日の首里城

会 期：9月20日～10月29日

場 所：首里杜館 ガイダンスホール

内 容：平成に復元された在りし日の首里城の姿をパネルで振り返った。

④ 古写真展「森政三コレクション」

会 期：10月30日～12月26日

場 所：首里杜館 ガイダンスホール

内 容：戦前の守礼門修理工事、戦後の守礼門・園比屋武御嶽石門の復元工事に関わった文部技官・森政三氏が所蔵した古写真から、戦前の首里城周辺を描いた地図画像を展示した。

⑤ 首里城のお正月展

会 期：12月27日～令和8年2月6日

場 所：首里杜館 ガイダンスホール

内 容：琉球王国時代のお正月について、新年のお祝いが首里城正殿や御庭を舞台に行われていたことを中心に紹介した。

⑥ 首里城の植物 デザイン展「守礼の花道」

会 期：令和8年2月7日～3月6日

場 所：首里杜館 ガイダンスホール

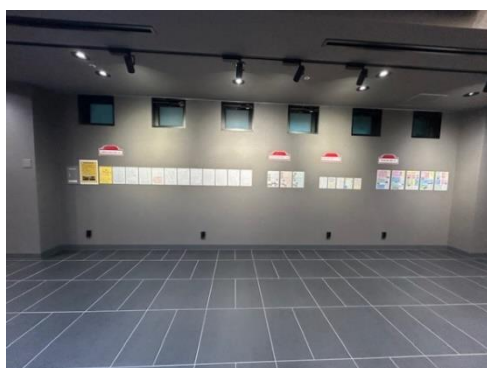
内 容：首里城公園内を花で装飾した「首里城公園華みぐい」の開催にあわせ、花や植物をモチーフにした琉球王国時代の美術工芸品を紹介した。

⑦ 企画展「尚円王即位 555 年記念展」

会 期：令和 8 年 3 月 7 日～3 月 27 日

場 所：首里杜館 ガイダンスホール

内 容：第二尚氏初代国王尚円が 1470 年に即位してから 555 年になることを記念し、琉球王国の歴史や尚円王の出身地である伊是名島との関連を紹介した。沖縄県立芸術大学の協力を得て、尚円王御後絵の高精細画像を展示した。



郷土歴史文化学習事業成果物展



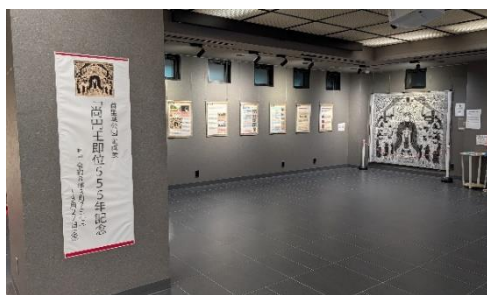
首里城基金～被災資料の修理について



森政三コレクション展



首里城のお正月展



尚円王即位 555 年記念展

5) 首里城公園友の会事業

首里城公園友の会

首里城公園を拠点に、地域に根ざした普及啓発活動を実施することを目的に、令和8(2026)年の首里城正殿完成に向け首里城復興の機運を高めるため、琉球・沖縄の歴史や文化に関する講演会、首里城見学会、史跡巡見などを専門の講師を招聘し開催した。また、将来の首里城の修復に備えイヌマキ育樹祭を実施した。

(1) 令和7年度実施計画および実施結果

【首里城見学会】

① 「夏休み親子向け首里城見学会」

開催日：8月22日

講師：新里涼子氏（株）国建 まち・しまデザイン部

場所：首里城公園（有料区域含む）

参加者：会員20名

② 「日暮れからの首里城見学会」

開催日：9月21日

講師：高良倉吉氏（琉球大学名誉教授）・平良啓氏（株）国建 執行役員常務

場所：首里城公園（有料区域含む）

参加者：26名

③ 「首里城復興特別ツアー」

開催日：11月1日、2日 ※1日2回、計4回開催

講師：上江洲安亨氏（沖縄美ら島財団）

高良倉吉氏（琉球大学名誉教授）、平良啓氏（株）国建 執行役員常務

場所：首里城公園（有料区域含む）

参加者：総計64名

【首里城周辺めぐり】

① 「国指定文化財・弁之御嶽をめざして」

開催日：11月8日

講師：鈴木悠氏（那覇市歴史博物館）

場所：首里城公園および周辺（当蔵町、鳥堀町）

参加者：19名

② 「首里八景を歩く」

開催日：令和8年3月20日

講師：上里賢一氏（琉球大学名誉教授）

場 所：首里城公園および周辺（当蔵町、崎山町）

参加者：21名

【那覇めぐり及び地域めぐり】

① 「ベッテルハイムが暮らした波上（なんみん）の街あるき」

開催日：12月20日

講 師：本村育恵氏（沖縄県立図書館）

場 所：那覇市波上周辺

参加者：20名

② 「北谷町立博物館見学」

開催日：令和8年3月28日

講 師：藤彰矩氏（北谷町立博物館）

場 所：北谷町立博物館（常設展示室）、伊礼原遺跡

参加者：23名

【文化講演会】

① 「総会記念講演会」

開催日：6月21日

テーマ：「首里城正殿—その建築に関する基礎知識」

講 師：平良啓氏（(株)国建 執行役員常務）

場 所：沖縄県立博物館・美術館（博物館講座室）

参加者：67名

② 「首里城文化講演会」

開催日：令和8年1月25日

テーマ：「首里城から見るグスク石積み—琉球列島の独自の技術を知る—」

講 師：山本正昭氏（沖縄県立博物館・美術館）

場 所：沖縄県立博物館・美術館（博物館講座室）

参加者：91名

③ 「首里城文化講演会」

開催日：令和8年2月14日

テーマ：「首里城正殿の龍頭棟飾・鬼瓦—その製作と取付けの奮闘記—」

講 師：山守隆吾氏（株環芸 代表取締役）

奥村耕治氏（清水・國場・大米特定建設工事共同企業体 工事長

司会・進行：平良啓氏（株国建 執行役員常務）

場 所：沖縄県立博物館・美術館（博物館講座室）

参加者：83名

【コンパクト講座】

- ① 「尚育王書跡の復元製作事業について」
開催日：10月4日
講師：鶴田大氏（（一財）沖縄美ら島財団 琉球文化研究室）
幸喜洋人氏（書家）
場所：首里杜館レビューホール
参加者：21名
- ② 「壺屋焼の魅力」
開催日：令和8年1月17日
講師：倉成多郎氏（壺屋焼物博物館）
場所：琉球料理「美榮」
参加者：11名

【沖縄本島及離島（バスツアー）】

- ① 「史跡巡見北部コース：今帰仁の史跡巡見」
開催日：令和8年1月31日
講師：宮城弘樹氏（沖縄国際大学教授）
場所：今帰仁村
参加者：34名
- ② 「史跡巡見中部コース：平敷屋とあやはしでつながる4島巡見」
開催日：令和8年2月22日
講師：恩河尚氏（沖縄市）
場所：うるま市（浜比嘉・平安座・宮城・伊計島）
参加者：25名
- ③ 「離島ツアー：津堅島巡見」
開催日：令和8年3月14日
講師：前田一舟氏（うるま市教育委員会）
場所：うるま市（津堅島）
参加者：25名

【イヌマキ育樹祭】 場所：国頭村辺野喜ダム附近

- ① 「第1回イヌマキ育樹祭」
開催日：10月25日
参加者：80名
- ② 「第2回イヌマキ育樹祭」
開催日：2月28日
参加者：95名

【体験教室】※（一財）沖縄美ら島財団連携

- ① 「ブクブクー茶体験」
開催日：11月16日
講師：ブクブクー茶保存会
場所：首里杜館レビューホール
参加者：19名
- ② 「琉球すごろく体験」
開催日：令和8年1月3日
講師：鶴田大氏（（一財）沖縄美ら島財団）
場所：首里杜館レビューホール
参加者：約100名

【首里城研究会】

- ① 「第179回」
開催日：5月10日
テーマ：「首里城研究27号合評会」
参加者：15名
- ② 「第180回」
開催日：6月14日
発表①：豊見山和行氏「三司官伊江朝睦（朝慶）の記録を掘り起こす」
発表②：金城善氏、平川信幸氏
「在番と親あんま」について—絵画と多良間島に赴任した役人のウヤンマー—
参加者：16名
- ③ 「第181回」
開催日：8月30日
発表①：安里進氏「那覇港周辺における15～20世紀の地形と景観の変遷」
発表②：南出眞助氏「18世紀の河川改修と久茂地川の運河化」
発表③：黒嶋敏氏「長虹堤再考—15世紀中期の都市空間」
参加者：21名（オンライン参加12名）
- ④ 「第182回」
開催日：11月15日
発表①：平良啓氏「首里城正殿の工事状況報告—令和8年秋の完成に向けて—」
発表②：幸喜淳氏「首里城再建にかかる調査検討について～塗装彩色を中心に～」
参加者：16名
- ⑤ 「第183回」
開催日：12月27日
発表①：安里進氏「御玉貫・御玉敷の読みについて——ウタマヌチは妥当か」
発表②：新田和馬氏「近世琉球における都市の形成について—行政区分の変遷を中心に—」

参加者：16名

⑥ 「第184回」

開催日：令和8年2月21日

発表①：金城善氏「糸満市字糸満の門中の骨の日（ジョーアキ・門開き）について」

発表②：高良 倉吉氏「首里城正殿大龍柱の向きをめぐる」

参加者：18名

【「首里城研究」（学術誌）の発行】

① 「首里城研究 No. 28」 令和8年3月31日発行

- ・ 平川信幸氏/「『孔子及び四聖配像』の来歴について」
- ・ 伊從勉氏/「熊本鎮台の首里城修繕と首里区の城内建物売却：近代首里城跡史序説」
- ・ 金城善氏/「琉球における宗門手札改の実施と薩摩藩主島津重豪治政下での御儉約による中止」
- ・ 幸喜淳氏/「首里城再建における塗装彩色に関する研究」

【友の会会報の発行】

- ① 「第132号」7月25日発行
- ② 「第133号」10月31日発行
- ③ 「第134号」令和8年1月15日発行
- ④ 「第135号」令和8年3月発行

【運営委員会】

- ① 「第1回運営委員会」
開催日：4月19日
テーマ：「友の会 R6 年度事業報告及び決算報告について」
参加者：9名
- ② 「第2回運営委員会」
開催日：5月24日
テーマ：「友の会 R6 年度監査、R7 年度理事会、総会に向けて」
参加者：7名
- ③ 「第3回運営委員会」
開催日：7月13日
テーマ：「会報 132 号発行及びイヌマキ育樹祭について、ほか」
参加者：7名
- ④ 「第4回運営委員会」
開催日：10月13日
テーマ：「会報 133 号発行及び下半期事業について」
参加者：8名
- ⑤ 「第5回運営委員会」

開催日：12月7日

テーマ：「会報134号発行及び第2回イヌマキ育樹祭について、ほか」

参加者：9名

⑥ 「第6回運営委員会」

開催日：令和8年1月17日

テーマ：「令和7年度1月～3月事業進捗状況、第2回イヌマキ育樹祭について、ほか」

参加者：8名

⑦ 「第7回運営委員会」

開催日：令和8年3月22日

テーマ：「会報135号発行について、ほか」

参加者：7名

【会員数（令和8年3月31日現在）】

個人会員：755人

法人会員：28社

6) 誘客促進

泡盛古酒ボトルオークション

日本遺産として琉球料理などと共に認定された「泡盛」は、琉球・沖縄の文化の重要な要素である。その泡盛についての文化を語り合う時間・空間を創出し、県民や観光客に琉球泡盛の魅力を知ってもらうことを目的に、泡盛古酒ボトルオークション等を開催した。

(1) 令和7年度実施計画

① 「第4回泡盛古酒ボトルオークション」

【期間】 ボトル募集：令和8年2月6日～22日

品評会：令和8年3月8日

本番：令和8年3月20日 13:00～16:00

【場所】 品評会：首里城公園管理センター

本番：首里杜館1階 レビューホール

【主催】 一般財団法人沖縄美ら島財団

【協力団体】 沖縄県酒造組合、山原島酒之会、泡盛マイスター協会、高江洲酒販、伊波酒類研究社

② 「泡盛の女王を巡る夕暮れガイドツアー」

【期間】 令和8年3月20日 17:00～18:00

【場所】 首里城公園全域

【定員】 15名

【料金】 1,500円 ※別途入場料

(2) 令和7年度実施結果

- ① ボトルの募集では、去年の116本を上回る168本が寄せられ過去最大となり、その約9割が募集2日目までに持ち込まれるなど、本事業への高い注目度が感じられた。
- ② 品評会では今回の目玉「1979年頃詰口の照島」の他、現存しない酒造所のボトル「千代泉」など、歴史的・文化的価値の高い泡盛古酒が多数出品され、品評委員からも高い評価を得た。
- ③ 午前中のボトル展示には、オークション参加者以外にも、首里城公園へ来園した方が多数訪れ、沖縄伝統の泡盛、更には希少な古酒への注目度の高さがうかがえた。
- ④ オークションでは、去年会場内が混雑した反省から会場をより広く使用できるようレイアウトを見直した。また、一般の公園利用者にチラシを配布して見学として入室いただき、新規参加者の獲得に努めた。
- ⑤ 競合によって価格が上昇する場面もあり、落札総額は663,500円となった。出品ボトル落札額の20%は、首里城の美術工芸品の修復や復元に関わる「首里城基金」へ寄付された。

■20日から首里城公園で春の御城まつり 首里城公園管理センターは20～22日、那覇市の首里城公園やその周辺で「首里城公園 春の御城（うぐしく）まつり」を開催する。こども旗頭やフォトコンテスト、泡盛古酒ボトルオークションなど多彩な催しがある。入場無料だが、体験会は有料。

首里染織館suikaraで開催するはた織りワークショップは、参加料4400円で同館へ事前予約が必要。電話098（917）6030。首里社館で21、22日にあるサンゴ染め体験は当日受付。参加料は子どもサイズTシャツは3000円、ミ



ニートバックは2000円。同センター首里城事業課主事の銘苅あやのさん一写真中央ニらが12日、琉球新報社を訪れ「首里の歴史や文化を見て、食べて、楽しみながら学んでほしい」と来場を呼び掛けた。イベント詳細は「首里城公園」のホームページから。

マスコミ訪問（新聞掲載）



品評の様子（品評委員）



出品ボトル展示



オークションの様子



オークションの司会進行



ガイドツアーの様子

首里城 MICE

首里城公園の利活用として MICE を通して魅力創造し、琉球および沖縄の歴史・文化・芸術等を情報発信して誘客促進することで沖縄県の観光振興に寄与することを目的に、首里城公園に自主事業として実施できるコンテンツの構築および受け入れ体制の確立を行った。

(1) 令和 7 年度計画

- ① 「御城の夕べ～彩りの首里城と琉球芸能～」
【日時】 令和 8 年 1 月 23～26 日 18:30～21:20
【場所】 歓会門、瑞泉門下、漏刻門、下之御庭、有料区域、首里杜館
【運営】 クラブツーリズム株式会社
- ② 「首里城 MICE パーティー」
【日時】 令和 8 年 2 月 5 日 15:20～20:30
【場所】 ガイドツアー：守礼門～歓会門～瑞泉門～広福門～有料区域
パーティー：首里杜館芝生広場
【主催】 株式会社エービー・サイエックス
【手配】 JTB ビジネストラベルソリューションズ

(2) 令和 7 年度結果

- ① 「御城の夕べ～彩りの首里城と琉球芸能～」は、平田大一氏監修の琉球芸能で多良間島に伝わる獅子舞や 8 月踊り、現代版組踊チームによる空手や琉球舞踊、当蔵青年会による旗頭など多彩で、首里をはじめ県内各地の魅力に触れる内容であった。首里杜館の展望ホール（屋内）では主催者手配の 3 社に加え財団の販売推進係の出店もあり、参加者は多様な県産品のほか、首里城売店のイチ押し商品を購入することができ好評であった。
- ② 「首里城 MICE パーティー」では、日中、首里城解説員によるガイドツアーで復興の様子を見学して歴史文化を学んで首里城への知識を深め、日暮れより芝生広場での着席パーティーを実施した。ガジュマルをライトアップするなど幻想的な雰囲気の中、ノボテル沖縄那覇による沖縄創作料理を味わい、琉球國祭り太鼓によるエイサー等の琉球芸能を鑑賞することで、首里城の多様な魅力を五感で堪能できたと好評であった。



御城の夕べ
～彩りの首里城と琉球芸能～



首里城 MICE パーティー

お城 EXPO2025

沖縄県内城跡の周遊を促進し、城郭文化の振興を図ることを目的に、国内最大級の城の祭典「お城 EXPO」へ出展し、正殿復元工事の進捗や、2026 年秋完成予定の正殿の PR を行い、首里城公園の来訪の意欲を高めた。また、沖縄県内各城郭との連携を図った。

(1) 令和 7 年度計画

【期間】 12 月 20 日、21 日

【場所】 パシフィコ横浜ノース

【連携】 今帰仁村観光協会(今帰仁城)、読谷村観光協会(座喜味城)、
うるま市観光物産協会(勝連城)、浦添市観光協会(浦添城)、
中城村観光協会(中城城)、沖縄市観光物産振興会(知名グスク、越来グスク)

【内容】 下記の実施

- ① パネル展示: 復元工事の進捗状況説明、平成と令和の正殿復元の違い
- ② 動画放映: 首里城正殿に会いたくて(鬼瓦、見学デッキ)、正殿内部映像、世誇殿映像
- ③ VR 体験: 復興の状況、令和の正殿リアル体験 ※協力: 株パスコ
- ④ 木組み体験: 蟻上げ蟻下げ、引き独鈷
- ⑤ 解説員によるミニ解説: 世誇殿タッチパネル解説
- ⑥ 首里城クイズ大会
- ⑦ 物販: 沖縄グスク巡り御城印先行販売、御城印 5 種、御城印帳 2 種、Rollbahn メモ
- ⑧ 沖縄グスク巡り御城印による県内城郭ブースの周遊
- ⑨ アンケート: QR コード
- ⑩ SNS フォロワー獲得キャンペーン: フォロー&アンケート回答で端材コースター、クリアファイル(B5)、シール等プレゼント

(2) 令和 7 年度結果

- ① 首里城ブースでは、復元工事の進捗や復元における平成と令和の正殿違いを紹介するパネル展示に加え、映像、VR 体験、木組み体験、解説、物販など、多角的な展示を行った。来場者の関心度は非常に高く、アンケートでは昨年度の倍以上の回答をいただいた。
- ② VR 体験は復興の過程や令和の正殿をリアルに体感できる内容が幅広い年代の来場者から高い関心を集めた。木組み体験は「実際に触れて理解できる」と特に人気が高く、理解促進に大きく寄与した。
- ③ 解説員によるミニ解説や首里城クイズ大会では、盛り上がりから立ち止まって耳を傾ける方も多く、首里城の歴史や建築技法に対する関心の高さがうかがえた。
- ④ 物販では全国のファン層にはお城 EXPO 限定御城印の人気が高かった。「お城 EXPO 限定の商品を購入したい」等のご要望があり、今後の商品造成の参考になった。

- ⑤ 12月16日に記者発表した「沖縄グスク巡り御城印」の先行販売を活用した周遊企画は、首里城ブースを起点に県内城郭ブースへ足を運ぶ流れができ、沖縄全体の城郭文化のPRにつながった。
- ⑥ 正殿外観工事完了や来年秋完成予定を紹介する中で、ファン層に首里城の魅力を直接伝え、反応をうかがえる良い機会となった。SNS フォロワー獲得キャンペーン(フォロー&アンケート回答)で新規フォロワーを獲得し、今後の情報発信の媒体把握と基盤強化につながる成果となった。
- ⑦ 募金箱には多くの寄附があり、寄付時に応援の声が多く寄せられた。



首里城ブース



VR体験の様子



木組み体験



首解説員によるミニ解説



首里城クイズ大会



首里城ブース物販

YouTube 動画コンテンツの公開

2026 年秋の完成を目指して復元工事が着々と進む首里城正殿について、「見せる復興」を広く PR することで首里城復興への気運を高め誘客に繋げることを目的に、公式 YouTube チャンネルにて動画コンテンツを配信した。

(1) 令和 7 年度結果

復元工事を含め、13 本の動画を配信した。(別途ショート動画 4 本)

〈首里城 YouTube チャンネル URL〉

<https://www.youtube.com/channel/UCECHLlyK1ttS9acFsC9sINQ>

公開日	タイトル	内容	サムネイル
4 月 15 日	【首里織体験】 2025 年 3 月 23 日開催 の実施報告	首里に伝わる様々な紋織や絣織物の魅力を紹介した。	
4 月 16 日	【首里城正殿復元】 素屋根見学エリア ラストスパート	「素屋根見学エリア」は正殿屋根と同じ高さから工事の様子を見られる貴重な場所で、6 月初旬頃までの公開を予定していることを周知した。	
10 月 15 日	首里城復興祭 2025 ～復興の想いを未来へ 繋ぐ～	11/1～3 に首里城公園および国際通り等で開催する「首里城復興祭 2025」の見どころを紹介した。	
10 月 30 日	首里城復興へのあゆみ ～正殿内部 「御差床」 施工	内閣府 沖縄総合事務局 国営公園事務所から提供を受けた正殿内部の復元工事を中心とした貴重な映像を共有した。	
11 月 2 日	ヴァイオリニスト 竜馬さんによる SYURINOUTA	首里城復興祭にて演奏していただいた際の映像を共有した。	

12月31日	首里城正殿に会いたくて vol.19	内閣府 沖縄総合事務局 国営公園事務所と連携し、首里城の復興の歩みを紹介した。	
12月31日	首里城正殿に会いたくて vol.20	内閣府 沖縄総合事務局 国営公園事務所と連携し、首里城の復興の歩みを紹介した。	
12月31日	2025年 復興の歩み	2025年のダイジェスト映像を配信した。	
2月6日	【2026年秋・首里城正殿完成 予定】今しか見ることのできない首里城を見に行こう2	沖縄県首里城復興課から提供を受けた映像を共有した。	
2月24日	首里城公園「華みぐい2026」解説動画 Part① 「リュウキュウマツ」	植物専門スタッフが、その魅力を動画で解説した。	
2月24日	首里城公園「華みぐい2026」解説動画 Part② 「アコウの木」	植物専門スタッフが、その魅力を動画で解説した。	
2月24日	首里城公園「華みぐい2026」解説動画 Part③ 「ソテツ」	植物専門スタッフが、その魅力を動画で解説した。	
3月3日	「夜首里城 YORUSHURIJO 2026」 Part1	首里城で開催されるライトアップ・プロジェクションマッピングイベントを紹介した。	

首里城通信 御城だより（うぐしくだより）

沖縄の歴史文化の普及啓発、及び首里城の魅力を広く広報することで沖縄観光へ寄与することを目的に、首里城公園の広報誌として、首里城正殿復元整備工事の進捗や首里城基金を活用した美術工芸品の修復状況を伝えた。

(1) 令和7年度計画

- ① 「首里城美術工芸品」をテーマに、琉球文化財研究室と連携し、首里城基金を活用した修理と復元製作の内容を紹介する。美術工芸品の魅力とともに、修理、復元の技術を紹介する構成とする。
- ② 首里城基金へ寄付いただいた方々を中心に配布する。冊子の発刊と併せてWEB版を首里城公園ホームページに掲載し、バックナンバーも閲覧できるよう汎用性を高める。

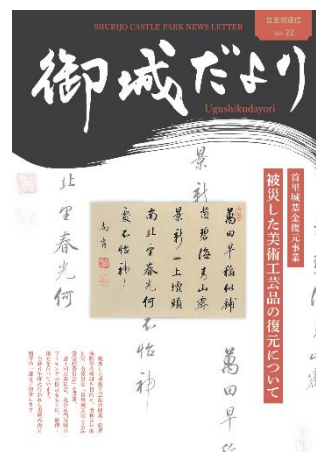
(2) 令和7年度結果

御城だより Vol. 21：2月発行、3,000部

御城だより Vol. 22：3月発行、3,000部



御城だより Vol. 21 表紙



御城だより Vol. 22 表紙



紙面内容



紙面内容

首里城公園フォトコンテスト

首里城での思い出をより印象深いものにするとともに、投稿者以外のお客様とも共有することで公園の魅力を広く伝え誘客促進につなげることを目的に、首里城を訪れたお客様に来園時に撮影した写真を投稿してもらったコンテストを開催した。

(1) 令和7年度計画

【募集期間】 令和8年2月20日～3月8日

【テーマ】 「私が好きな首里城 2026」

【応募方法】 Instagram(#私が好きな首里城 2026) 又は 専用フォーム

【展示】 令和8年3月20～31日に見学デッキ(有料区域内)に展示 ※見学は無料

(2) 令和7年度結果

入選作品12点を選出し、見学デッキへの展示およびホームページに掲出した。



朝日と守礼門



正殿と国王・王妃



歓迎の笑顔



日常に溶け込む正殿



正殿復元の記録と記憶



歴史の息吹



復興への道のり



愛らしいシーサー



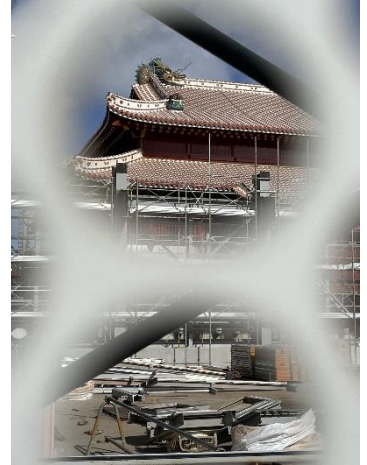
龍頭棟飾と鬼瓦、
慶良間の空



青空と正殿



自然と歴史



復興への想い



展示の様子

7) 行催事

首里城公園 ゴールデンウィーク体験イベント

琉球王国が育んだ歴史文化の魅力を多くの子供たちに伝えることを目的に、親子で楽しめる体験型イベントを開催した。

(1) 令和7年度計画

【期間】5月3日～5月5日

【場所】首里城公園内全域

【内容】下記のとおり。

各イベント名	場所
こども御開門式体験会	奉神門前
漆喰絵付け体験	瑞泉門下
琉球張り子絵付け体験	瑞泉門下
紅型コースター染付け体験	系図座・用物座
琉球音楽演奏会	世誇殿
金細工でオリジナルのお守りを作ろう	首里杜館1階
謎解きゲーム	園内全域

(2) 令和7年度結果

- ① 入場促進策として券売所で参加作品の提示により団体割引を適用する方式を試行した。
- ② 外国人観光客の増加を想定し、各体験ブースで概略や製作手順のキャプション(英語)を座席に設置し、翻訳機(ポケットク)も活用した。
- ③ 広報では新たな試みとしてホテルへのチラシ配布を行ったところ、那覇市内ホテルのサイネージ掲出やホテルWEBサイトで紹介されたことで、イベント参加ならびに首里城入場の動機づけにつながった。
- ④ 体験プログラムは定員を超える参加があったが、予備の在庫で対応することで希望者全員が参加できた。



こども御開門式体験会



漆喰絵付け体験



琉球張り子絵付け体験



紅型コースター染付け体験



琉球音楽演奏会



金細工お守り作り体験



謎解きゲーム

首里城公園 夏休み体験イベント

琉球王国が育んだ歴史文化の魅力を多くの子供たちに伝えることを目的に、夏休み期間中に、「親子で楽しめる」を主眼に、体験要素と学習要素の高いプログラムを提供した。

(1) 令和7年度計画

【期間】8月1日～8月24日（24日間）

プログラム	場所	開催日時
首里城正殿ぬり絵体験	系図座・用物座	8/1、8/6～8、8/13～15、8/20～22 計10日間
ワークショップ 赤土でシーサー作り体験	レビューホール	8/2～8/3 計2日間
サンセットガイドツアー	城郭内	8/2、8/9、8/16、8/23 計4日間
琉球音楽演奏会	世誇殿	8/3、8/10、8/17、8/24 計4日間
こども御開門式	奉神門基壇	8/3、8/10、8/17、8/24 計4日間
紅型タペストリー染付け体験	レビューホール	8/9、8/10 計2日間
首里城オリジナルちょうちん作り体験	系図座・用物座	8/16～8/17 計2日間
琉球菓子ちんすこう作り体験	系図座・用物座	8/23～8/24 計2日間
夏休み自由研究帳の配布	園内	7/19日～8/24

(2) 令和7年度結果

- ① 今回はチラシの印刷部数と配布範囲を拡大し、従来配布してきた周辺ホテルに加えモノレール沿線のホテル、那覇市内の学童保育へ配布した。アンケートでは、「来園して知った方」より「事前に情報を入手した方（園外配布チラシ、HP、SNS）」が多い結果となった。
- ② 体験プログラムは、講師と調整して昨年度からのレベルアップを図り、赤土シーサー体験は面シーサーから全身へ、紅型染付け体験はコースターからタペストリーに発展し、充実度の高いプログラムを実施した。
- ③ 有料エリアへの送客施策として、有料プログラムの参加者と家族等を対象に入場料を20%割引する「夏休み体験イベントキャンペーン」を実施した。今回はオンライン購入によるスムーズな入場をアピールし、多くの方が利用した。
- ④ 児童生徒から「自由研究で首里城について学びたい」という電話やメールが多く寄せられたことから、来年は自由研究等の質問に答えるプログラム「こども相談室（仮題）」を新設し、更なる普及啓発につなげる。



首里城正殿ぬり絵体験



赤土でシーサー作り体験



サンセットガイドツアー



琉球音楽演奏会



御開門式体験会



紅型タペストリー染付け体験



ちようちん作り体験



琉球菓子(ちんすこう)作り体験



首里城自由研究帳

首里城復興祭

琉球文化の普及啓発、沖縄の観光振興に加えて、沖縄の歴史文化の発展、県民の方々へ首里城復興に想いを馳せる機会の創出、地域の発展に寄与することを目的に、国や県、地域との連携により各種催事を開催した。

(1) 令和7年度計画

【期間】11月1日～11月3日

【場所】首里城公園、首里城公園周辺、那覇市国際通り

【連携団体】那覇市、首里振興会、沖縄県、琉球新報社、地域団体等

イベント名	場所	11/1	11/2	11/3
国王・王妃出御	奉神門前	○	—	—
琉球王朝絵巻行列	那覇市国際通り	—	○	—
琉球王朝祭り首里「古式行列」	奉神門～守礼門～龍潭通り	—	—	○
首里城復興祈念ステージ	芝生広場	○	○	○
琉球芸能公演	下之御庭	○	—	○
こども御開門式	奉神門前	○	○	○
首里城 VR 体験	復興展示室	○	—	○
首里城復興特別見学ツアー	有料区域	○	○	—
琉球泡盛の粋 in 銭蔵	銭蔵	○	○	○

(2) 令和7年度結果

- ① 7月20日、沖縄県立博物館・美術館において一般およびマスコミ公開による「国王・王妃公開選出大会」を開催し、新国王・王妃を選出した。その後、8月20日に認定証授与式、10月24日には首里城復興PRのため市長表敬訪問を実施した。
- ② 11月2日の「琉球王朝絵巻行列」では、国際通りにて華やかな一大絵巻を再現した。気軽に参加できる「いちやりばちよーで隊」は早期に定員に達し、読谷高志保の馬舞や空手演舞、エイサーなど多様な演出を取り入れることで、新たな魅力と賑わいを創出した。また、「うむいの燈プロジェクト」と連携し、琉球王朝絵巻行列に続いて首里城まで歩く「復興ウォーク」を企画・実施した。有料エリアチケットと連動した入場促進等を行い参加促進と復興機運の醸成を図った。
- ③ 11月3日の「琉球王朝祭り首里 古式行列」では、五穀豊穡を祈願する三が寺行幸を再現し、国王・王妃らによる厳かな行列が多くの観光客や地域住民の関心を集めた。系図座・用持座での「琉球芸能公演」や芝生広場での「首里城復興祈念ステージ」では、「SYURI NO UTA」を作曲したバイオリニスト竜馬氏の出演をはじめ、琉球古典芸能から地域団体による演舞まで多彩なプログラムで多くの来場者と賑わった。



国王・王妃出御



琉球王朝絵巻行列



琉球王朝祭り首里「古式行列」



首里城復興祈念ステージ



琉球芸能公演



こども御開門式



首里城 VR 体験



首里城復興特別見学ツアー



琉球泡盛の粋 in 銭蔵



うむいの燈プロジェクト

首里城公園 新春の宴

沖縄観光及び首里地域の活性化に寄与することを目的に、正月儀式「朝拝御規式」の一部紹介や、国王・王妃出御を披露するとともに、琉球舞踊や古典音楽により首里城らしいお正月の雰囲気を出すイベントを開催した。

(1) 令和7年度計画

【期間】 令和8年1月1日～1月3日

イベント名	場所	1/1	1/2	1/3
朝拝御規式	奉神門前 ～下之御庭	○	○	—
国王・王妃出御	奉神門	—	—	○
御座楽演奏	系図座・用物座	○	○	—
琉球芸能の宴	系図座・用物座	○	○	—
こども御開門式	奉神門	—	—	○
端材 de つくろう	復興展示室	○	○	○
朝拝御規式映像上映	世誇殿	—	—	—
お正月書初め体験	レビューホール	○	○	○
首里城で迎えよう！初日の出見学会	首里城公園内	○	—	—
首里城「朝賀の儀式」パネル展	ガイダンスホール	—	—	—
新春特別ぐるっとツアー	首里城公園内	○	○	○

(2) 令和7年度結果

- ① 最大9連休の年末年始となり、御庭工事エリアの特別公開および入場料金の県民割との相乗効果を期待したが、荒天により入園・入場共に前年同等に留まった。お客様の安全と衣装・備品類の保全を目的に一部内容を変更したが、ケガや事故なく終了することができた。
- ② 新春特別ぐるっとツアーは申込が定員を上回り、お客様からの要望を受けて16時の定時ツアーを特別ツアーに変更して実施した。
- ③ 広報を工夫し、「事前告知を見て来場した方（HP、SNS、園外掲出物、新聞、学校等）」が、「首里城に来て知った方（園内掲出物、チラシ、通りすがり）」を大きく上回った。
- ④ 来年は正殿が完成して初めて迎える正月になるため、アンケート結果を参考に利用促進に加え、混雑分散と満足度向上を両立できるイベントを企画・実施する。



朝拝御規式



国王・王妃出御



御座楽演奏



竜馬さん特別ステージ



琉球芸能の宴



朝拝御規式映像上映



お正月書初め体験



琉球すごろく体験



「朝賀の儀式」パネル展



令和の正殿パネル展



初日の出見学会



新春鐘撞き体験



特別ぐるっとツアー



公園の風景 1



公園の風景 2

首里城公園「華みぐい」

花をテーマにしたイベントを行うことで、公園の利用促進及び来園者の満足度向上を図ることを目的に、沖縄を訪れたお客様を美しい花々で歓迎する OCVB 主催の「沖縄花のカーニバル 2026」の開催と連動して、首里城公園内を草花で装飾した。また、琉球王国時代の植物に関する美術工芸品や植栽について知識を深める機会とした。

(1) 令和 7 年度計画

【期間】 令和 8 年 2 月 7 日～3 月 1 日 23 日間

イベント名	場所	期間
園内花装飾	守礼門～歓会門	2/7～3/1
首里城の植物 ポスター展「守礼の花道」	ガイダンスホール	2/7～3/1
歴史・植物ガイドツアー	園内各所	2/21、2/22
首里城の植物たち（映像）上映	世誇殿	2/7～3/1

(2) 令和 7 年度結果

- ① 「草花による園内装飾」は、守礼門前および歓会門前をブーゲンビリア 39 鉢、マリーゴールド・ベゴニア・サルビア計 5,000 鉢でフォトスポットとして演出し、冬でも温暖な沖縄の魅力を広く発信した。また、「守礼の花道ポスター展」は、琉球王国時代の花をモチーフとした絵画や工芸品等をパネルで紹介し、琉球文化の普及啓発を図った。
- ② 「歴史植物ガイドツアー」は、学芸員および植物担当と園内を巡りながら、建築物の意匠に用いられている花のモチーフや植栽等の歴史的背景と植物の関わりを分かりやすく紹介する内容とした。
- ③ 映像「首里城の植物たち」上映では、過去に実施した「百人御物参」の映像も用いて、園内に咲く草花や、工芸品に描かれた花や植物を紹介し、植物を通じた歴史や文化への理解を深める機会とした。
- ④ 県内新聞 2 紙で歴史植物ガイドツアーの参加者募集を広報した結果、掲載日以降に問い合わせが増加し定員に達したため、職員配置を増やして定員を拡大することでニーズに応えた。また、SNS 広報では、準備段階から継続的に情報発信を行い来園前の動機づけを高めたほか、園内散策時の理解促進を目的として管理課職員による植物紹介動画を撮影・配信した。



草花による園内装飾の様子



草花による園内装飾の様子



守礼の花道ポスター展の様子



歴史植物ガイドツアーの様子



映像「首里城の植物たち」の様子



SNS用動画撮影の様子

8) 見せる復興

首里城復興ワークショップ

首里城復興の取り組みを全国に広く PR することを目的に、イオンワンパーセントクラブが全国のイオンモールで開催する「首里城復興支援展（巡回展）」と連携し、ワークショップを実施した。

(1) 令和7年度計画および結果

日付	場所	ワークショップ	参加者数
4/19、4/20	イオンモール福岡（福岡県）	かんな削り体験 端材ストラップ作り	881名
5/17、5/18	イオンモール京都桂川（京都府）	かんな削り体験 端材ストラップ作り	1,072名
5/24、5/25	イオンモール沖縄ライカム	端材ストラップ作り	500名
6/27、6/28	イオンモール福岡（福岡県）	端材ストラップ作り PR ステージ	150名 (工作のみ)
12/13、12/14	イオンモール幕張新都心（千葉県）	端材ストラップ作り 缶バッジづくり体験	696名
1/17、1/18	イオンモール名取（宮城県）	端材ストラップ作り 缶バッジづくり体験	378名
2/14、2/15	イオンモール白山（石川県）	端材ストラップ作り 缶バッジづくり体験	269名



イオンモール福岡



イオンモール京都桂川



イオンモール沖縄ライカム



イオンモール福岡



イオンモール幕張新都心



イオンモール名取



イオンモール白山

令和7年度 首里城公園事業年報 第7号 2026年5月 作成

発行所 一般財団法人 沖縄美ら島財団

沖縄県那覇市首里金城町1丁目2番地

電話 098-886-2020 (代)

編集兼発行人 湧川 盛順

